

道立紋別高等看護学院

学院生活に関する学生アンケート結果（7月）

- 実施時期 令和6年7月16日～26日
- 対象期間 令和6年2月～令和6年7月
- 対象 全学生
- 回答方法 申請フォームにより各自スマートフォンで回答（無記名）

1 回答率（目標：100%）

月	7月
回答数	25人（83%）

2 学院生活の満足度（目標：楽しい・まあまあ楽しいが増加）

月	7月
【1】学院生活が充実している（楽しい・まあまあ楽しい）	18人 (72%)

3 自己肯定感（目標：ポジティブな回答が増加）

月	7月
【2】自分自身に満足しているか (そう思う、どちらかと言えばそう思う)	16人 (64%)
【3】自分が役に立っていると感じるか (そう思う、どちらかと言えばそう思う)	18人 (72%)
【4】今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	17人 (68%)

4 教職員の対応で不快に感じたこと（目標：「なかった」が100%）

月	7月
【5】教職員の対応で不快に感じたことがあったか	なかった 22人（88%）
	あった 3人（12%）
【6】「あった」場合の具体的な内容	体型や演習に関して不快な発言をされた（1人）
	教務室から愚痴が聞こえた（誰のことか特定できないが、学生のことと考えられるタイミングだった）（1人）
	実習でケアの見守りを頼むと面倒くさそうに対応された（1人）

5 ハラスメント相談員の周知（目標：「知っている」が100%）

月	7月
【7】ハラスメント相談員を知っている	22人（88%）

6 学院としての対応

(1) 教職員の対応で不快に感じたことについて

職員間で協議した結果、具体的場面が特定できた1件に関しては、該当学生と保護者に謝罪しました。他の2件は具体的な場面は特定できませんでした。

改めてハラスメント防止研修を教職員全員で受講するとともに、道立高等看護学院ハラスメント防止基本指針及び紋別高等看護学院倫理指針にて対応の留意点を学び直し、再発防止に努めていきます。

(2) ハラスメント相談員

学生便覧と学生掲示板にハラスメント相談員及び相談方法を記載・掲示するなどし、学生への周知を図ります。